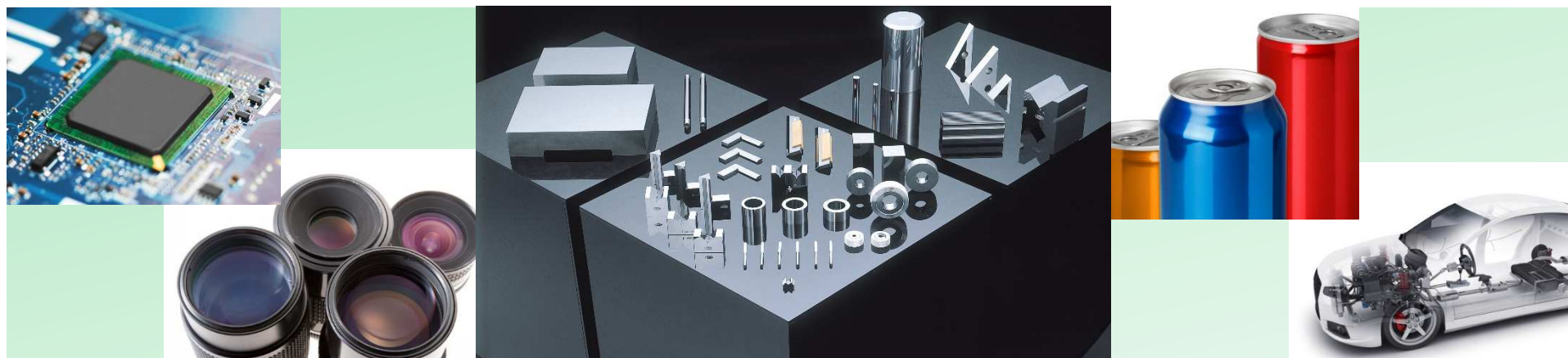


2024年3月期  
第1四半期決算 補足説明資料

富士ダイス株式会社

モノづくりを通じて広く社会に貢献する



# INDEX

---

1. 会社概要	P.02
2. 2024年3月期 第1四半期業績概要	P.09
3. 2024年3月期 業績予想	P.14
4. 2024年3月期 第2四半期以降の重点施策	P.19
5. APPENDIX	P.28

0 1

会社概要

## 当社の特長

### 超硬耐摩耗工具市場でトップシェア

国内超硬耐摩耗工具業界では当社は長期に亘り、トップシェアを堅持  
多品種少量の高付加価値製品の販売が主で、販売価格は安定して推移

業界シェア  
30%以上

### 開発力-生産技術力-営業力が競争力の源泉

お客さまの個別ニーズをカスタマイズできる直販体制  
幅広い業種との安定かつ多くのお客さまとの取引実績  
設計から原料粉末の調製、焼結、機械加工、製品検査までの一貫生産体制

取引社数  
約3,000社

### 長期的成長を担う高い研究開発力（技術力）

粉末冶金技術を活かし、市場ニーズに応える新材料の開発技術  
人手による技術を新鋭設備研究と工法最適化による現行技術との融合

コア技術  
・粉末冶金技術  
・超精密加工技術

### 財務基盤：黒字経営を継続し、高い自己資本比率を維持

ネットキャッシュ 7,483百万円  
フリーキャッシュフロー 62百万円

自己資本比率  
77.4%  
(2023年6月末時点)

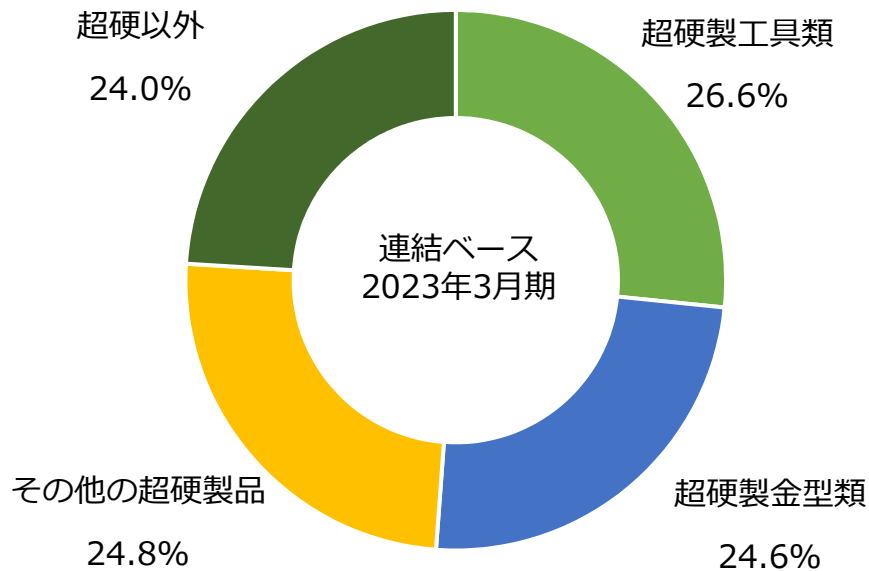
(2023年3月期末)

# 事業内容

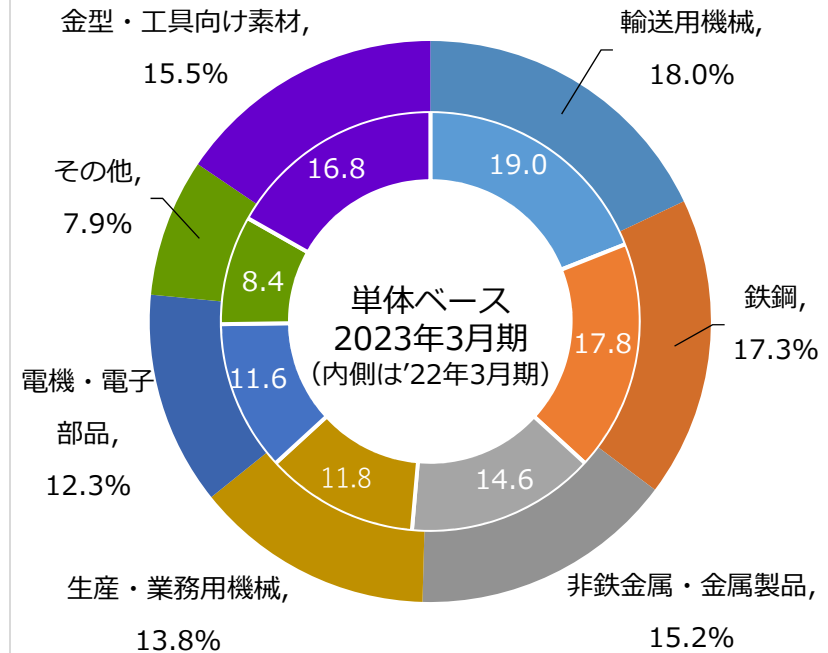
超硬合金製を中心とした工具・金型（耐摩耗工具）製造

幅広い産業分野  
における顧客

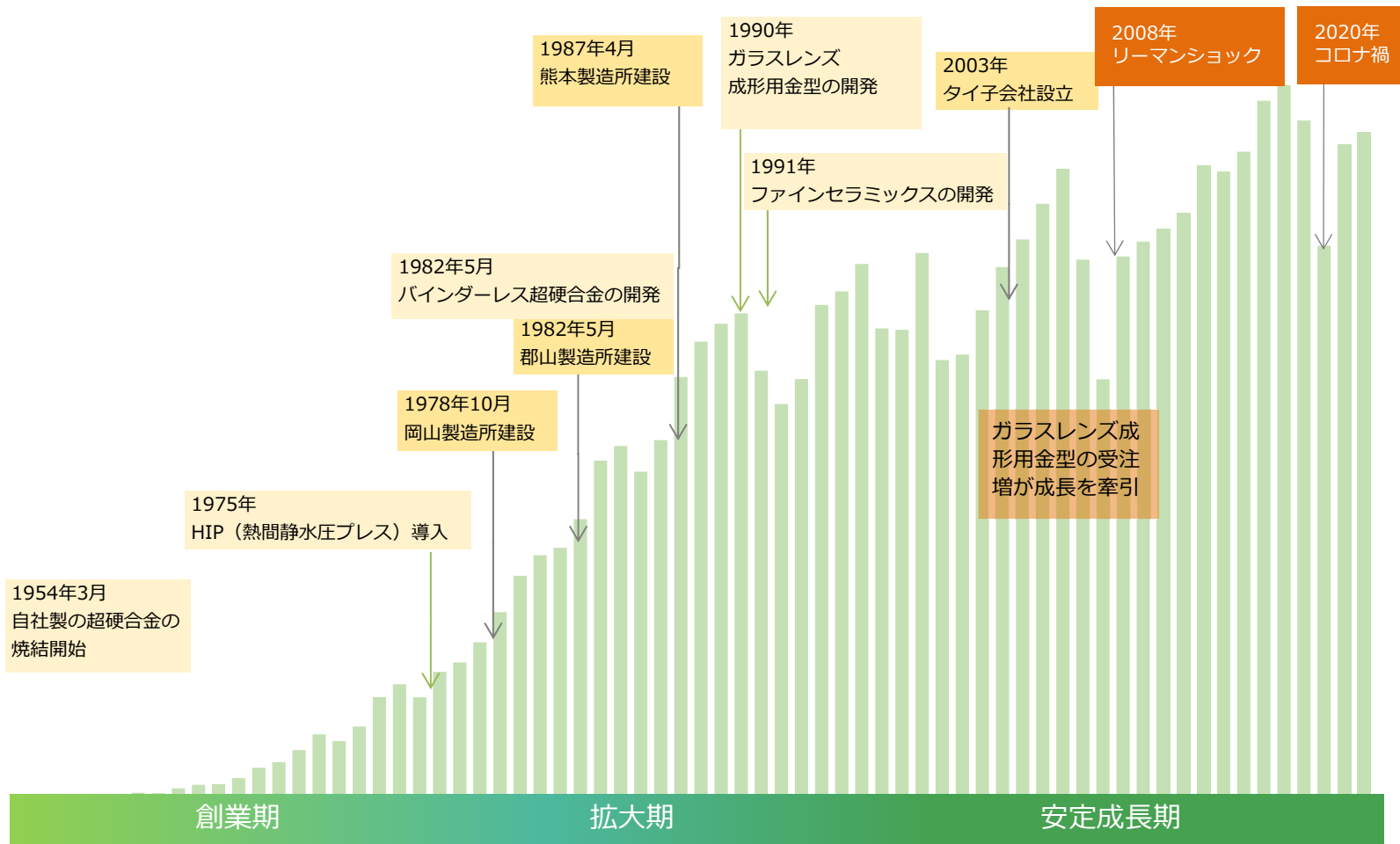
【製品区分売上構成(%)】



【顧客産業分類区分売上構成(%)】



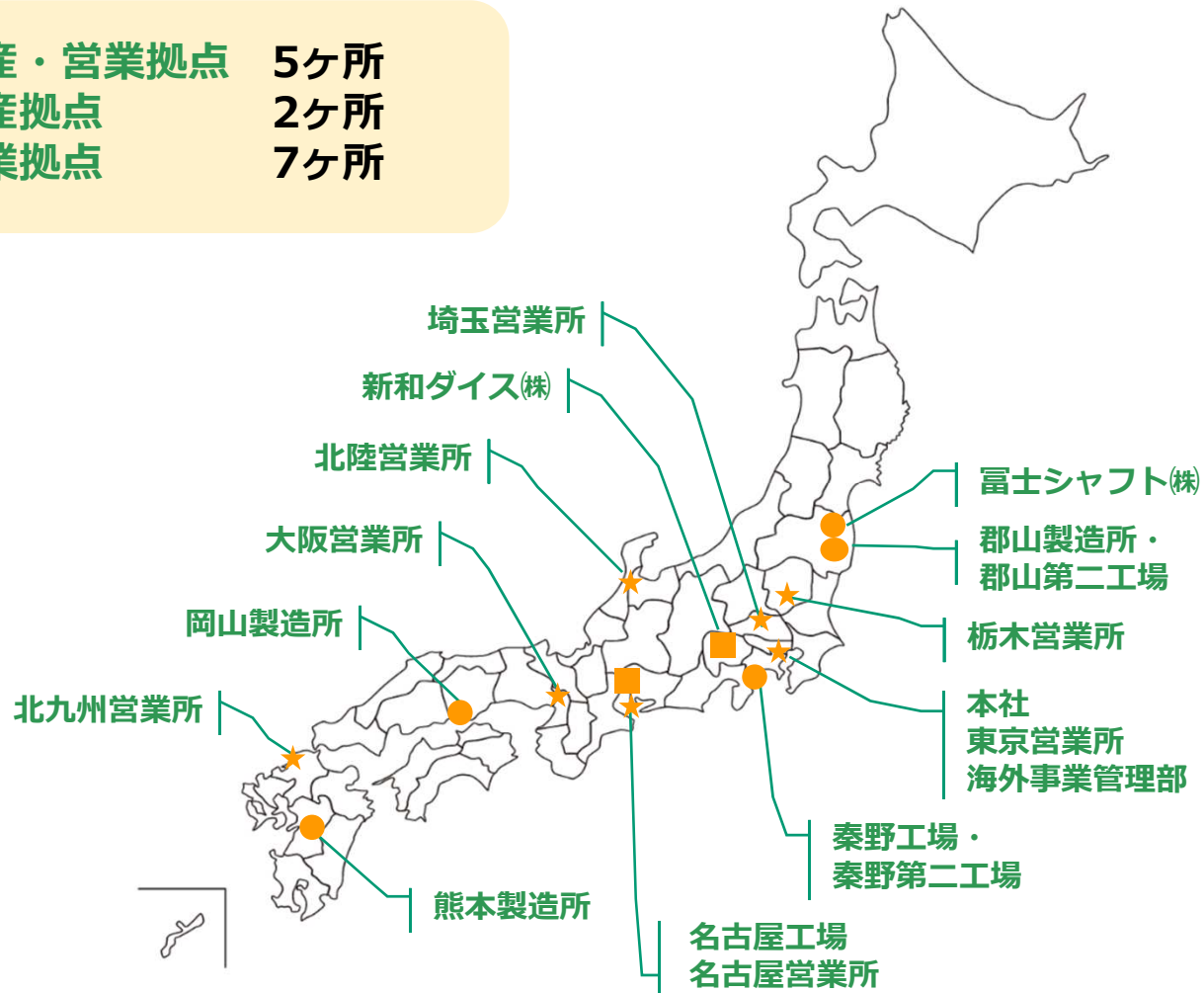
# 主な沿革と売上高推移



(注) 2012年度以降は連結売上高

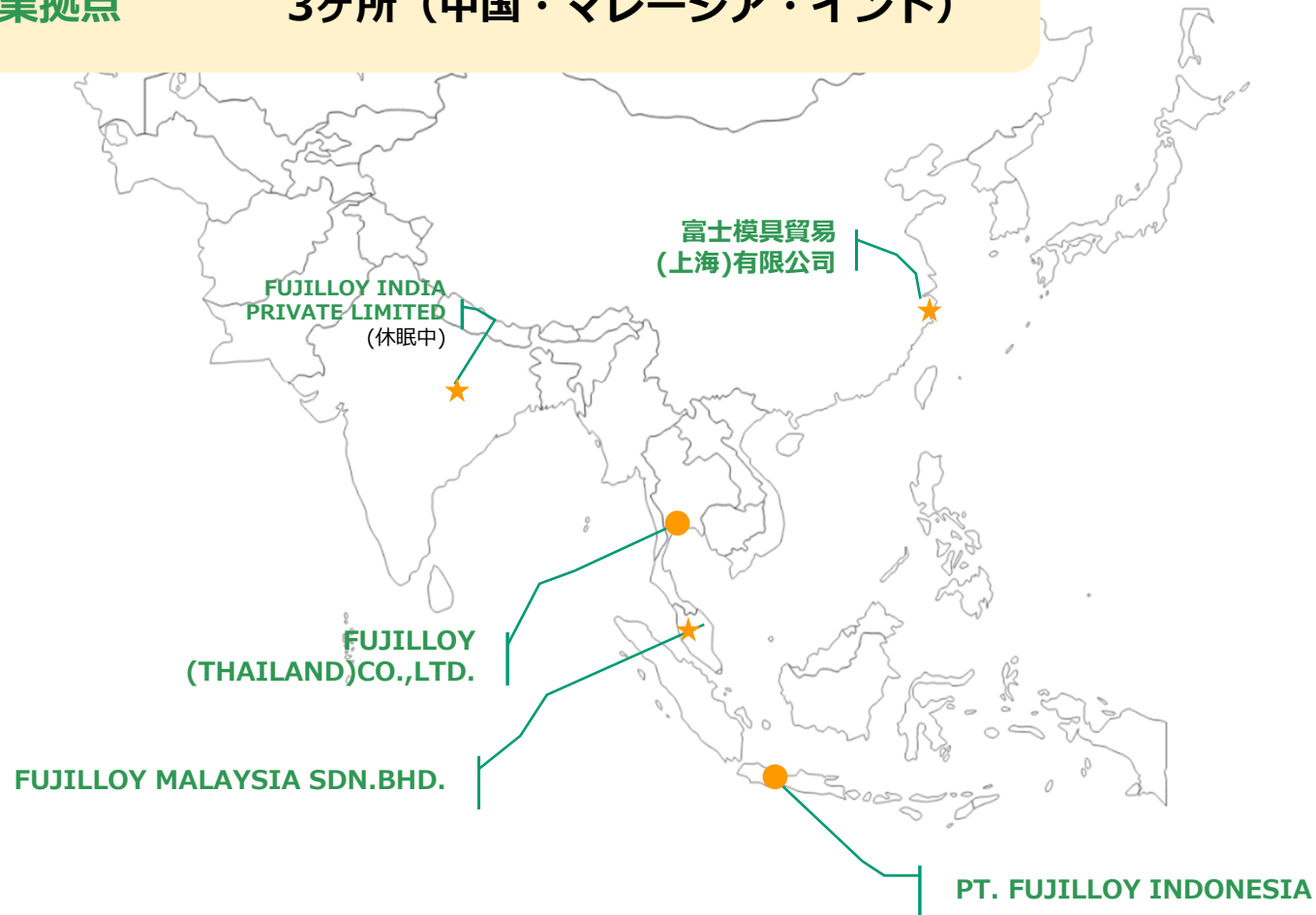
# 拠点ネットワーク（国内）（2023年6月現在）

- 生産・営業拠点 5ヶ所
- 生産拠点 2ヶ所
- ★ 営業拠点 7ヶ所



## 拠点ネットワーク（海外）（2023年6月現在）

- 生産・営業拠点 2ヶ所（タイ・インドネシア）
- ★営業拠点 3ヶ所（中国・マレーシア・インド）





## 直近のメディア掲載記事・TOPICS

### ● 型技術 (日刊工業新聞社) 2023年8月号

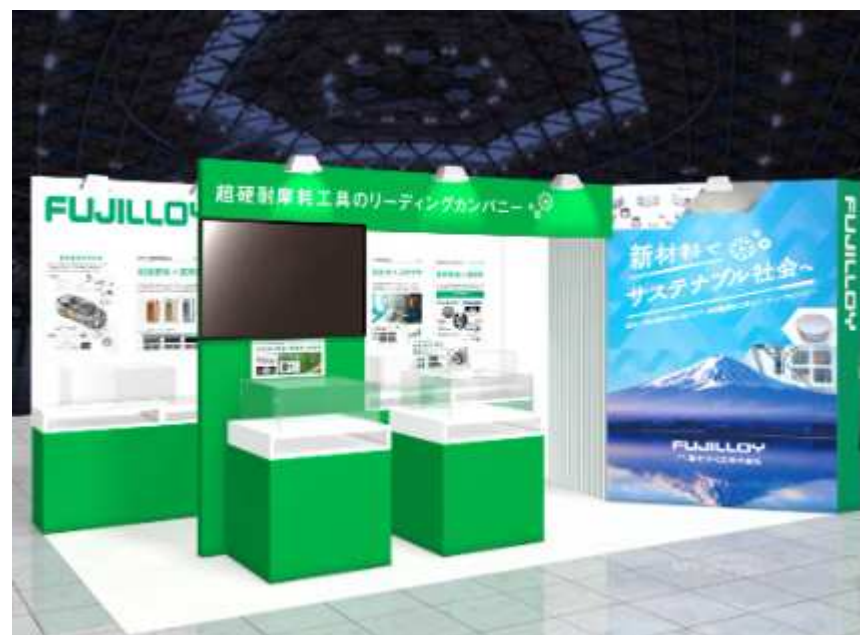


【TECHNICAL REPORT】  
環境対応に向けた新材料  
『サステロイ ST60』

**FUJILLOY**

### 展示会への出展

- **INTERMOLD 2023(第34回金型加工技術展)/金型展2023**  
2023年4月12日(水)～4月15日(土)  
東京ビッグサイト(東京国際展示場)
- **高機能素材Week2023/第10回[関西]メタルジャパン**  
2023年5月17日(水)～5月19日(金)  
インテックス大阪



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

02

2024年3月期  
第1四半期 業績概要

## 2024年3月期第1四半期累計期間 総括

連結売上高	4,107百万円	(前年同期比△1.6%)
連結営業利益	290百万円	(前年同期比△9.8%)

■ 連結売上高は前年同期比で微減

■ 連結売上高の減少や電力燃料費の高騰等により減益

売上高	増加要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 海外向け溝付きロールの需要増</li> <li>■ 鋼管用ダイス・プラグの需要増</li> <li>■ 原材料、電力燃料等の高騰に伴う価格改定に着手</li> </ul>
	減少要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中国の経済停滞に伴う需要減</li> <li>■ 自動車部品関連金型の回復遅れに伴う需要減</li> <li>■ 引抜鋼管の需要減</li> </ul>
利益	増加要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生産性向上・業務効率化の施策に一定の成果</li> <li>■ 原材料、電力燃料等の高騰に伴う価格改定に着手</li> </ul>
	減少要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 連結売上高減少に伴う利益減少</li> <li>■ 電力燃料の高騰等によりコストが増加</li> </ul>

## 2024年3月期第1四半期 連結業績サマリー

### 概要コメント

**売上高**：中国の経済停滞や自動車部品関連金型の回復遅れにより微減  
**営業利益**：売上高の減少や電力燃料費の高騰等により減少  
**経常利益**：営業利益の減少に伴い減少  
**四半期純利益※**：前期建物関係の除却損があったことから横這い

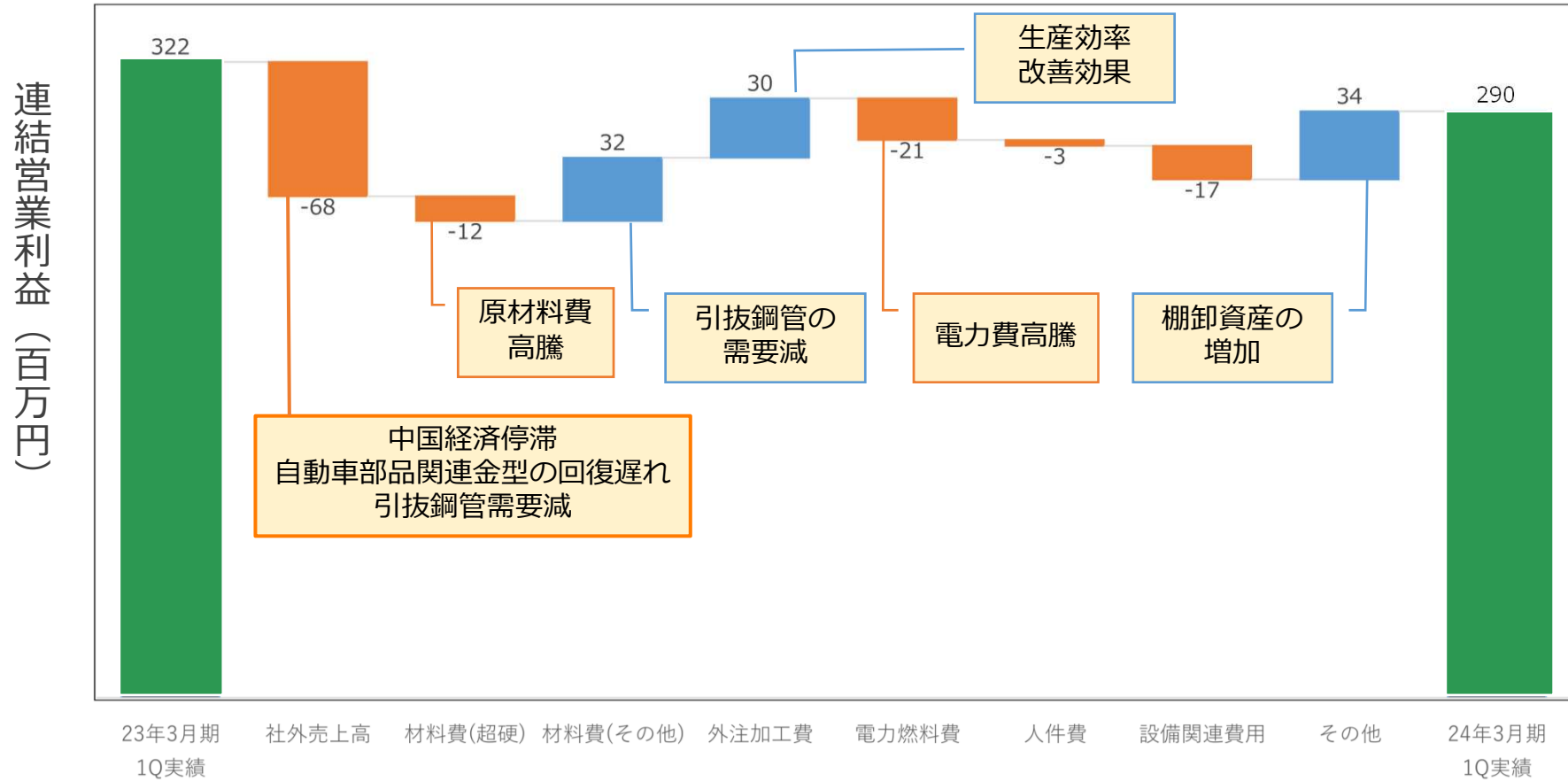
(単位：100万円)	2023年3月期 第1四半期実績	2024年3月期 第1四半期実績	前期増減	前期増減率	業績予想 進捗率	業績予想
売上高	4,175	4,107	-68	-1.6%	23.1%	17,800
営業利益	322	290	-31	-9.8%	24.9%	1,170
営業利益率	7.7%	7.1%	-0.6%	-8.3%		
経常利益	365	331	-34	-9.3%	27.0%	1,230
経常利益率	8.8%	8.1%	-0.7%	-7.8%		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	241	237	-3	-1.6%	26.6%	890
親会社株主に帰属する 四半期純利益率	5.8%	5.8%	0%	0.0%		
1株当たり 四半期純利益/当期純利益	12.17円	11.95円	-0.22円	-1.8%	-	44.87円
自己資本比率	77.7% (2023年3月期末)	77.4%	-0.3%	-		

※四半期純利益は「親会社株主に帰属する四半期純利益」となります

# 営業利益 増減要因 (前年同期比)

## 営業利益

生産性向上・業務効率化の施策の効果等はあったものの、売上高の減少や原材料費、電力費の高騰により、約31百万円の減益



## 財務の状況 連結貸借対照表 増減分析

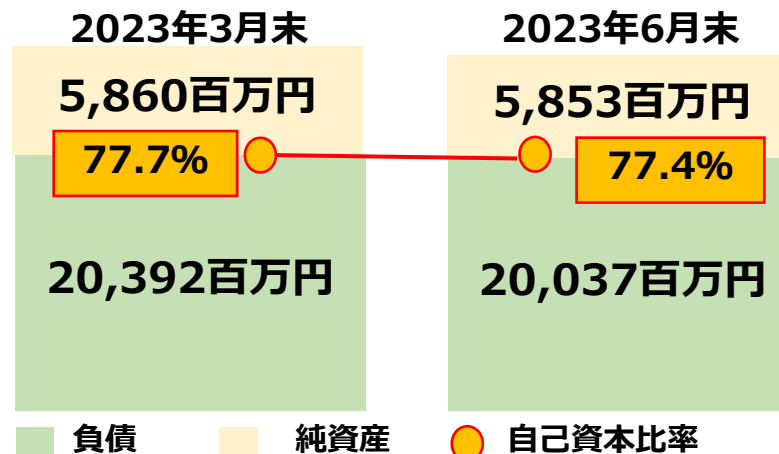
現金及び預金が286百万円減少したことにより流動資産は429百万円減少  
建物及び構築物が149百万円増加したことにより固定資産は67百万円増加

### 財務状況

2023年6月末 ※ ( ) は2023年3月末との差

資産 25,891百万円 (△361百万円)	負債 5,853百万円 (△6百万円)
	純資産 20,037百万円 (△355百万円)

### 負債・純資産・自己資本比率



単位：100万円	2023年3月末	2023年6月末
流動資産	15,724	15,295
固定資産	10,528	10,595
資産合計	26,253	25,891
流動負債	4,197	4,187
固定負債	1,662	1,665
負債合計	5,860	5,853
純資産合計	20,392	20,037

現金及び預金	6,285百万円
原材料及び貯蔵品	1,466百万円
建物及び構築物（純額）	3,748百万円
建設仮勘定	1,059百万円
短期借入金	34百万円
長期借入金	0百万円
退職給付に係る負債	1,615百万円
利益剰余金	19,423百万円
その他包括利益累計額	555百万円

03

2024年3月期  
業績予想

## 今後の見通しと業績予想

原材料価格や電力燃料費の高騰、設備投資によるコスト増を、  
 拡販と販売価格への転嫁により吸収し、営業利益は微増  
 を計画

営業利益  
**11.7億円**  
 (前期比101.7%)

(単位：百万円)

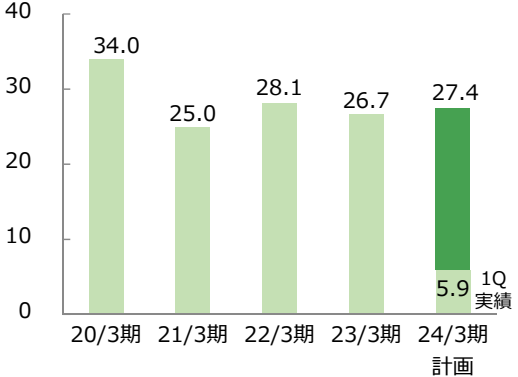
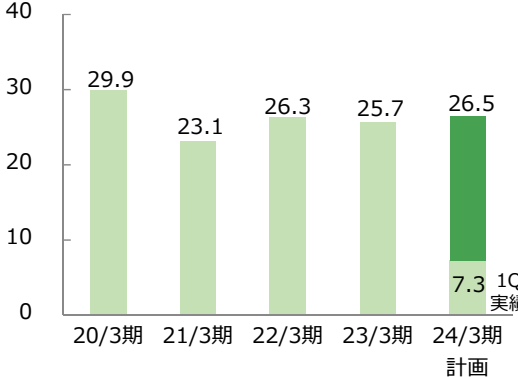
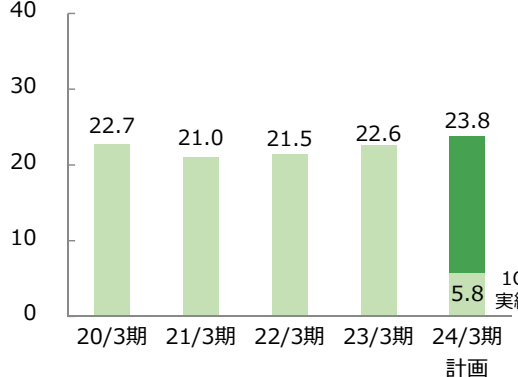



	2023年3月期	2024年3月期 (計画)	前期比
売上高	17,179	17,800	103.6%
営業利益	1,150	1,170	101.7%
経常利益	1,225	1,230	100.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	※1 1,292	890	68.9%
減価償却費	920	991	107.7%
その他設備関連費用（修繕費等）	391	※2 494	126.3%
設備投資額（有形・無形固定資産合計）	1,637	1,830	111.7%

※1 固定資産の売却に伴い632百万円を特別利益として計上

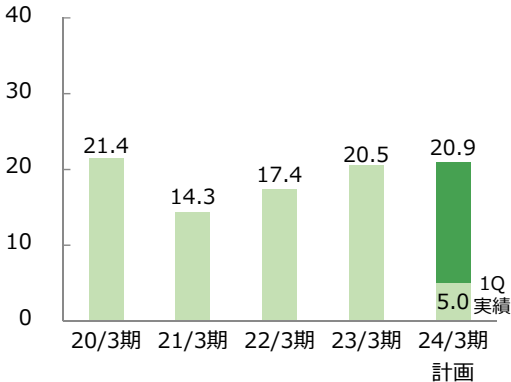
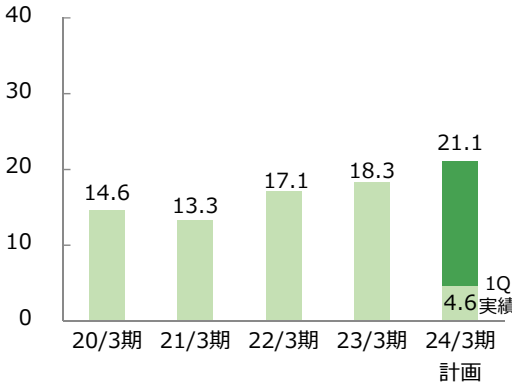
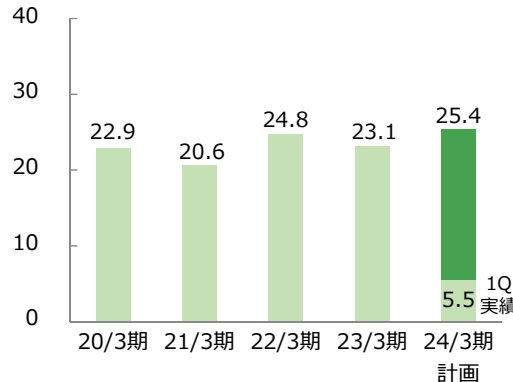



※2 うち熊本製造所新冶金棟建設関係：約80百万円



# 主要産業分類別状況（単体ベース、売上高）業績見通し（2024年3月期）

	輸送用機械	鉄鋼	非鉄金属・金属製品																																																						
売上高（億円）	 <table border="1"> <caption>輸送用機械 売上高（億円）</caption> <tr><th>期</th><td>20/3期</td><td>21/3期</td><td>22/3期</td><td>23/3期</td><td>24/3期</td></tr> <tr><th>売上高</th><td>34.0</td><td>25.0</td><td>28.1</td><td>26.7</td><td>27.4</td></tr> <tr><th>24/3期内</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1Q実績: 5.9, 2Q計画: 21.5</td></tr> </table>	期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	売上高	34.0	25.0	28.1	26.7	27.4	24/3期内					1Q実績: 5.9, 2Q計画: 21.5	 <table border="1"> <caption>鉄鋼 売上高（億円）</caption> <tr><th>期</th><td>20/3期</td><td>21/3期</td><td>22/3期</td><td>23/3期</td><td>24/3期</td></tr> <tr><th>売上高</th><td>29.9</td><td>23.1</td><td>26.3</td><td>25.7</td><td>26.5</td></tr> <tr><th>24/3期内</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1Q実績: 7.3, 2Q計画: 19.2</td></tr> </table>	期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	売上高	29.9	23.1	26.3	25.7	26.5	24/3期内					1Q実績: 7.3, 2Q計画: 19.2	 <table border="1"> <caption>非鉄金属・金属製品 売上高（億円）</caption> <tr><th>期</th><td>20/3期</td><td>21/3期</td><td>22/3期</td><td>23/3期</td><td>24/3期</td></tr> <tr><th>売上高</th><td>22.7</td><td>21.0</td><td>21.5</td><td>22.6</td><td>23.8</td></tr> <tr><th>24/3期内</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1Q実績: 5.8, 2Q計画: 18.0</td></tr> </table>	期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	売上高	22.7	21.0	21.5	22.6	23.8	24/3期内					1Q実績: 5.8, 2Q計画: 18.0
期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期																																																				
売上高	34.0	25.0	28.1	26.7	27.4																																																				
24/3期内					1Q実績: 5.9, 2Q計画: 21.5																																																				
期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期																																																				
売上高	29.9	23.1	26.3	25.7	26.5																																																				
24/3期内					1Q実績: 7.3, 2Q計画: 19.2																																																				
期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期																																																				
売上高	22.7	21.0	21.5	22.6	23.8																																																				
24/3期内					1Q実績: 5.8, 2Q計画: 18.0																																																				
製品イメージ	 <p>鍛造金型</p>	 <p>圧延ロール</p>	 <p>製缶工具</p>																																																						
事業概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>24/3期1Qは自動車部品生産の回復が進まず、全体的に低調。</li> <li>下期以降自動車生産の回復等により、前期比約3%増を見込む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>24/3期1Qは鋼管用ダイス・プラグの需要が増加。</li> <li>下期以降自動車生産の回復、電磁鋼板向け刃物の拡販等で、前期比約3%増を見込む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>24/3期1Qは海外向け溝付ロールが好調に推移。</li> <li>2Q以降も溝付きロールの拡販等で、前期比約5%増を見込む。</li> </ul>																																																						

# 主要産業分類別状況（単体ベース、売上高）業績見通し（2024年3月期）

	生産・業務用機械	電機・電子部品	金型・工具向け素材																																																						
売上高（億円）	 <table border="1"> <tr><th>期</th><td>20/3期</td><td>21/3期</td><td>22/3期</td><td>23/3期</td><td>24/3期</td></tr> <tr><th>売上高</th><td>21.4</td><td>14.3</td><td>17.4</td><td>20.5</td><td>20.9</td></tr> <tr><th>24/3期内訳</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1Q実績: 5.0, 計画: 15.9</td></tr> </table>	期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	売上高	21.4	14.3	17.4	20.5	20.9	24/3期内訳					1Q実績: 5.0, 計画: 15.9	 <table border="1"> <tr><th>期</th><td>20/3期</td><td>21/3期</td><td>22/3期</td><td>23/3期</td><td>24/3期</td></tr> <tr><th>売上高</th><td>14.6</td><td>13.3</td><td>17.1</td><td>18.3</td><td>21.1</td></tr> <tr><th>24/3期内訳</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1Q実績: 4.6, 計画: 16.5</td></tr> </table>	期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	売上高	14.6	13.3	17.1	18.3	21.1	24/3期内訳					1Q実績: 4.6, 計画: 16.5	 <table border="1"> <tr><th>期</th><td>20/3期</td><td>21/3期</td><td>22/3期</td><td>23/3期</td><td>24/3期</td></tr> <tr><th>売上高</th><td>22.9</td><td>20.6</td><td>24.8</td><td>23.1</td><td>25.4</td></tr> <tr><th>24/3期内訳</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1Q実績: 5.5, 計画: 19.9</td></tr> </table>	期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	売上高	22.9	20.6	24.8	23.1	25.4	24/3期内訳					1Q実績: 5.5, 計画: 19.9
期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期																																																				
売上高	21.4	14.3	17.4	20.5	20.9																																																				
24/3期内訳					1Q実績: 5.0, 計画: 15.9																																																				
期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期																																																				
売上高	14.6	13.3	17.1	18.3	21.1																																																				
24/3期内訳					1Q実績: 4.6, 計画: 16.5																																																				
期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期																																																				
売上高	22.9	20.6	24.8	23.1	25.4																																																				
24/3期内訳					1Q実績: 5.5, 計画: 19.9																																																				
製品イメージ	 <p>光学素子成型用金型</p>	 <p>電池向け金型</p>	 <p>金型・工具向け素材</p>																																																						
事業概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>24/3期1Qは半導体製造装置向けや光学素子向けの販売が好調に推移。</li> <li>半導体製造装置向けは2Q以降も堅調と予想、前期比約2%増を見込む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>24/3期1Qは車載用電池向け製品が堅調に推移したが、PC・スマホ向け半導体の回復が進まず。</li> <li>車載用電池向け製品の需要拡大等により、前期比約16%増を見込む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>24/3期1Qは中国の経済停滞に伴い需要減。</li> <li>2Q以降はモーターコア金型向け素材の拡販等により、前期比約10%増を見込む。</li> </ul>																																																						

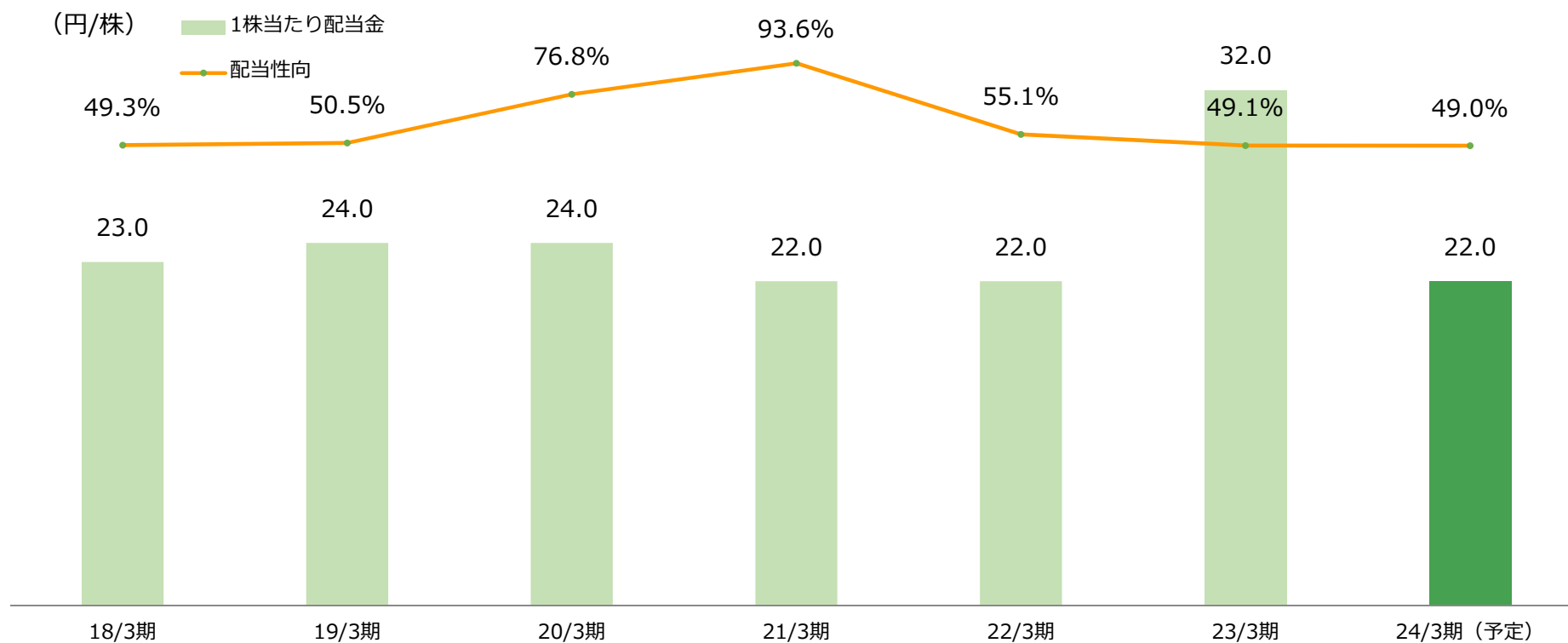
## 株主還元・配当

・ 2024年3月期は一株当たり22円

年間配当金  
**22円**

### 【利益配分に関する方針】

安定配当の継続を重要な経営課題の一つとし、利益の状況、将来の事業展開、財政状態及び経営成績を勘案し、配当性向50%を目途に還元



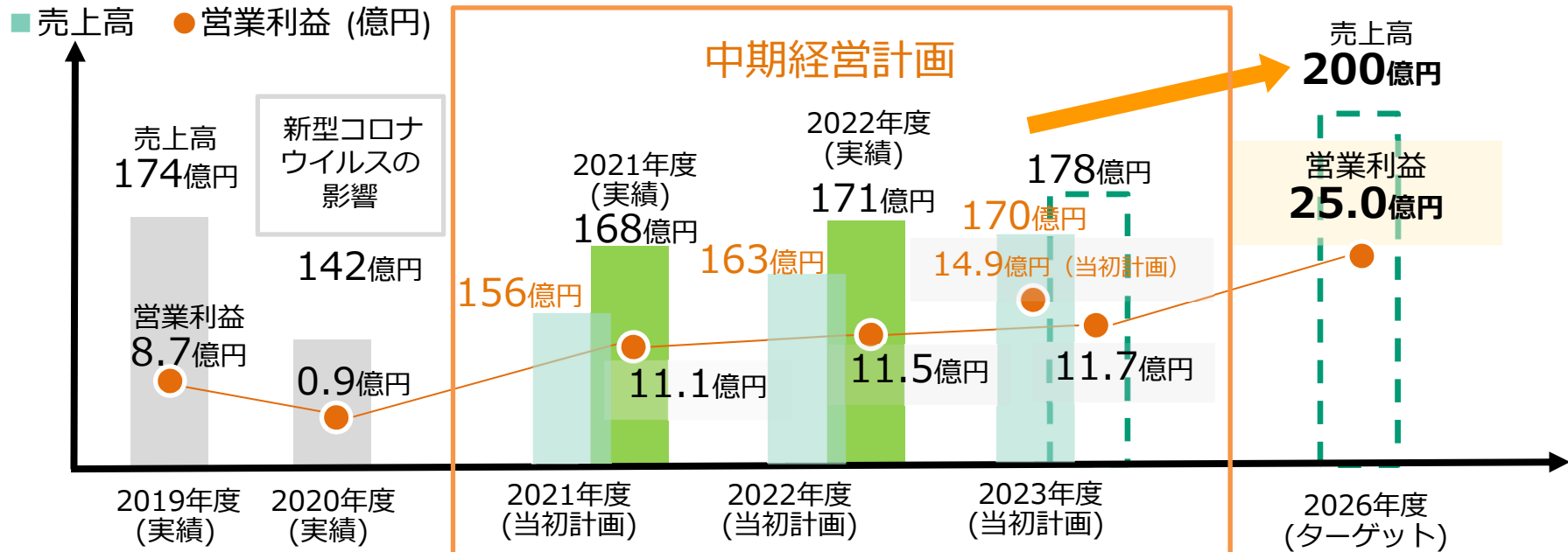
04

2024年3月期  
第2四半期以降の重点施策

# 中期経営計画（2021-2023年度）の位置づけ《連結》

【フェーズ1：2023年度】 連結売上高：170億円、営業利益：14.9億円

【フェーズ2：2026年度】 連結売上高：200億円、営業利益：25.0億円



- ・ コロナ禍からの回復
- ・ 筋肉質な企業体質への転換
- ・ 次世代新製品・新事業の育成・深耕
- ・ 海外事業の強化
- ・ 売上高拡大、更なる利益(率)の拡大
- ・ **営業利益率12.5%以上**

# 中期経営計画（2021-2023年度）： 成長戦略・重要施策

～基本コンセプト～

## 筋肉質な企業体質への転換、中長期の成長基盤の構築

### 1 生産性向上・業務効率化

生産プロセスの改善、ITを活用した業務効率化により、利益が出せる少数精鋭による筋肉質な体質を目指す

- ・ 外部コンサルタントを活用した生産効率の改善
- ・ ITを活用した営業手法の導入
- ・ 基幹システム、グループウェア刷新等のITインフラ整備
- ・ 生産拠点の見直しによる拠点再編の検討
- ・ 自立型人財の育成

### 2 次世代自動車への対応・拡販

市場動向に即したソリューション提供による顧客の主要サプライヤーとしての地位確立

- ・ マーケティングによる選択と集中（モーター関連製品、電池関連製品は特に注力）
- ・ 販売/生産/研究開発部門の三位一体となった取り組み
- ・ 材料開発等による積極的な試作品の投入

### 3 新成長エンジンの創出

顧客の新たな価値創出につながるソリューション提供により、市場ニーズを先取りした高付加価値製品の開発

- ・ マーケティング部門と製品開発部門の融合
- ・ 大学や外部研究機関、取引先開発部門との共同開発などのオープンイノベーションの推進
- ・ M&A、業務提携の検討

### 4 海外事業の強化

アジア地域を中心とした海外売上高の拡大、管理機能の強化による海外子会社の経営安定化

- ・ ローカル人財の育成、オンラインを活用した販売活動
- ・ 海外製造拠点（タイ、インドネシア）の生産性向上、技術・技能の向上によるアセアン地域における競争力向上
- ・ 中国における販売拠点の拡大

## 第2四半期以降の対応施策

## ①製造部門における生産性向上・業務効率化

高品質を維持しながら、より少ない時間で、より多くの製品を作ることを目指す

2024年3月期目標 原価率4.4%低減 (2020年3月期第2四半期比)

### ①自動搬送の導入

郡山製造所に自動搬送を導入  
(2023年6月～)

### ②自動化ロボットの夜間稼働

郡山製造所の冶金作業に自動化ロボットを導入 (2023年7月～)

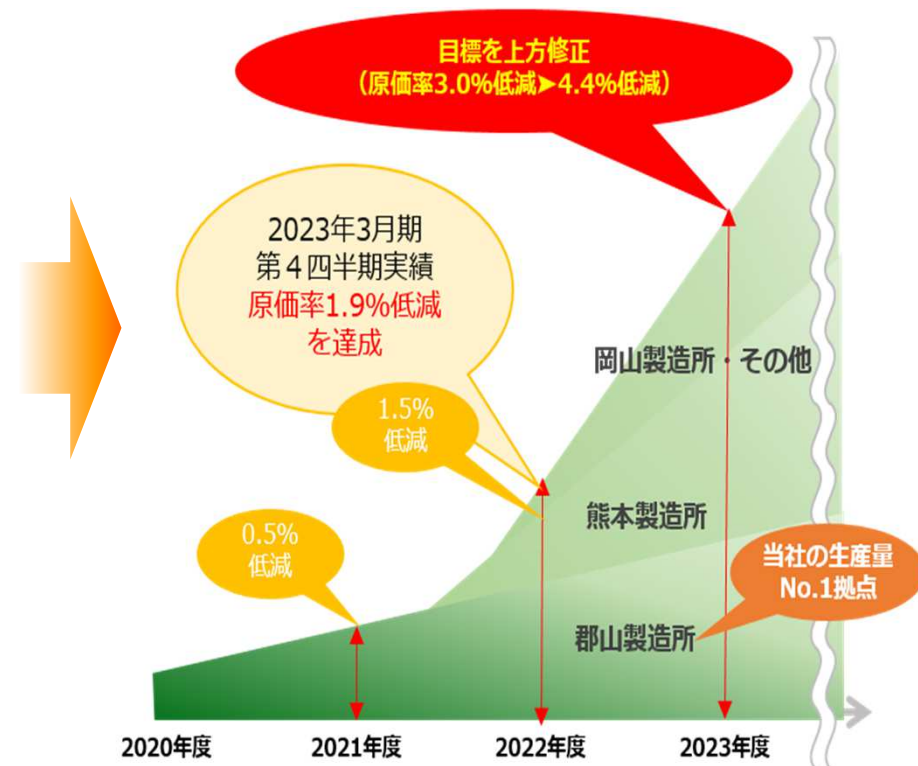
### ③加工条件の標準化

加工条件を最適化するとともに標準化することで、作業効率を向上

### ④レイアウト最適化

熊本製造所の冶金棟のリニューアル、各工場でのレイアウト変更

### 生産性向上・業務効率化の効果イメージ



## 第2四半期以降の対応施策

## ②次世代自動車への対応・拡販

コロナによる景気減速やロックダウンの影響もあり一時需要減となるが、世界的なEV化の拡大により各分野の金型および金型素材の需要が堅調に増加

### 二次電池

- 車載用二次電池需要の世界的な高まりに伴い、当該電池ケースを成形する金型も需要が増加。

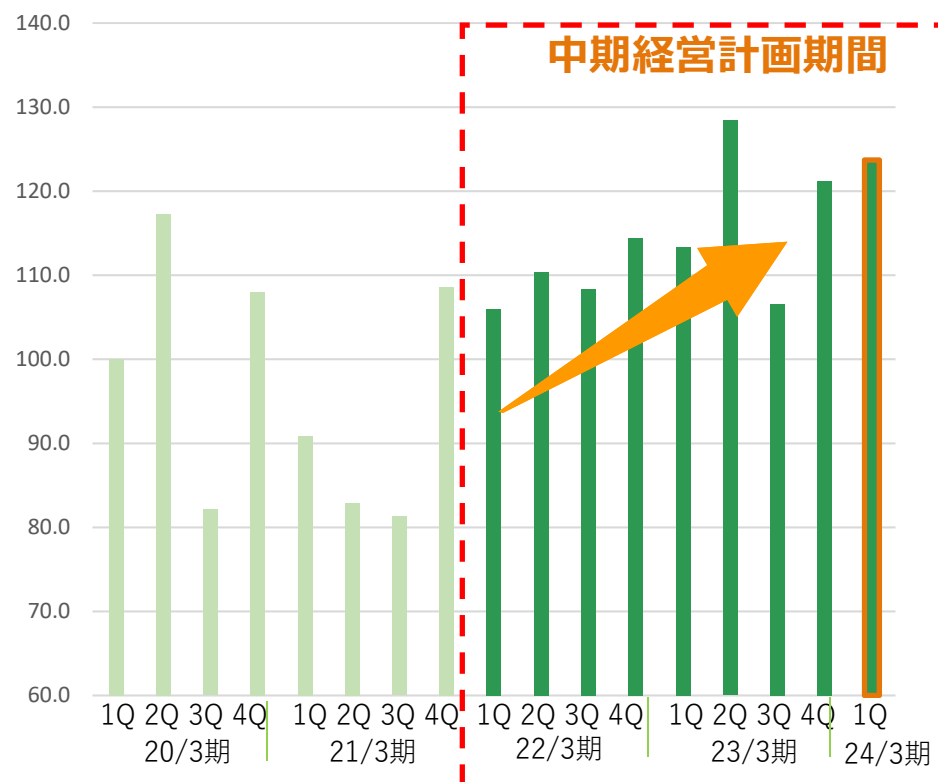
### モーターコア

- 電磁鋼板の抜き金型において、顧客要望に応え開発した新素材（VG48）を市場投入し、顧客評価の範囲を拡大。
- ラインナップを拡充させる事で、モーターコア金型用材種における顧客選択肢を増加させ、当社の優位性を高める。
- 更なるニーズ対応の為、新材料開発を継続。

### マグネット

- 車載用を中心にレアアース磁石の需要が高まり、国内、海外向けで金型および金型素材の需要が堅調に推移。

次世代自動車 重点拡販分野売上高推移  
(2020年3月期第1Q=100)





## 第2四半期以降の対応施策

## ③新製品開発・新技術開発

- ・分析用デバイス成形金型の加工技術、省タングステン・コバルト合金の開発を推進
- ・サステロイST60は、各方面から問い合わせをいただき試作品を出荷、顧客評価中

分野	概要	進捗状況	販売時期(計画)		
			2022年	2023年	2024年
医療・化学	①② 分析用デバイス成形金型	① バインダレス合金 ② 高熱膨張材 (TR合金)	→	→	→
環境・エネルギー	③ CO <sub>2</sub> 還元用触媒	③ 第三者と共同開発 (試作品評価中)	→	→	→
	④ 水素発生触媒	④ 試作準備中		→	→
光学ガラス	⑤⑥ 省タングステン・コバルト合金 (サステロイST60)	⑤ 材料開発完了 (特許出願)	→	→	→
		⑥ ラインナップ化		→	→
AM	⑦⑧ 高熱膨張レンズ用金型(TR合金)	⑦ 販売中 ⑧ 大径品検討中	→	→	→
	⑨ 造形技術の確立 (3D造形技術による超硬合金への適用)	⑨ サンプル試作 (QCD試算中)	→	→	→

粉末冶金技術を軸に、顧客ニーズに合わせた多種多様な高機能材料を開発



※ 各用語の説明や開発の背景については、P.36をご参照ください。

※ 赤字は今回修正部分、下線はオープンイノベーションを実施中。

**FUJILLOY**

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

---> 点線矢印：試作・開発中  
—> 実線矢印：販売中

- ・ 2023年7月に海外事業本部を設立、担当役員を擁立  
海外事業の強化を推進

### 海外事業の将来像



## ESGの取り組み

当社グループは、「事業を通じて広く社会に貢献し、幸せな人を育てる」という企業理念に基づき、新たに策定・開示した**サステナビリティ基本方針**に沿って、環境負荷軽減や地域との共生など持続可能な社会の実現に向けた企業統治や諸活動を行っています。

### Environment 環境

- サステナビリティ委員会の設置
- 情報開示の充実（CDPへの回答、TCFD開示）
- 環境調和型製品の提供（日本機械工具工業会による環境調和認定製品7種類）
- 環境配慮製品への切り替え（FSC認証紙やベジタブルインキなど）
- 社用車のエコカーへの切り替え（2022年3月時点で60%切り替え済み）
- 環境関連法令順守の維持・継続（排水、排気、騒音、廃棄物、化学物質等）
- フジロイ・タイランドがCSR-DIW受賞（緑化、ボランティア活動、低所得者就労支援）
- 省タングステン・コバルト合金の開発



【フジロイ・タイランドCSR-DIW受賞】



【フジロイ・タイランド緑化活動】



【フジロイ・タイランド就労支援】

# ESGの取り組み

## Social 社会

- 地域社会との共生（献血活動の継続、おたオープンファクトリー、小学校への出張授業）
- 福祉施設への寄付・慰問
- 品質マネジメントシステム認証取得（2002年11月にISO9001認証取得し、継続登録）による顧客満足度向上の持続的な改善
- 障がい者雇用の環境整備（障がい者農園を活用した野菜生産）

## Governance 統治

- 企業理念、大切にしている価値観、長期ビジョンの策定と公表
- コンプライアンス・リスクマネジメント対応（2か月に1回、コロナ対応含め対策会議を実施）
- コーポレート・ガバナンス報告書を適時更新し開示
- BCP(事業継続計画)の策定と定期的な見直し
- 指名・報酬委員会の設置
- 独立社外取締役を3分の1以上選任
- 譲渡制限付株式報酬制度導入（社内取締役対象）



【小学校での出張授業】



【農園での収穫祭】



【農園での収穫の様子】

# 05

## APPENDIX

## 会社概要（2023年3月現在）

商号	富士ダイス株式会社
所在地	東京都大田区下丸子二丁目17番10号
資本金	164百万円
代表者	代表取締役社長 久保井 恒之
創業	1949年6月
事業目的	超硬合金製の耐摩耗工具・金型の製造販売
従業員数	1,118名（2023年3月期末時点、連結）

# 富士ダイスの企業理念・大切にしている価値観・長期ビジョン

## 企業理念

- ◆ 事業を通じて広く社会に貢献し、幸せな人を育てる
- ◆ 人間尊重、人間中心の経営

## 基本的な考え方（私たちが大切にしている価値観）

- 報恩感謝
- 和
- 創造と革新
- 誠実
- 質実剛健

## 長期ビジョン

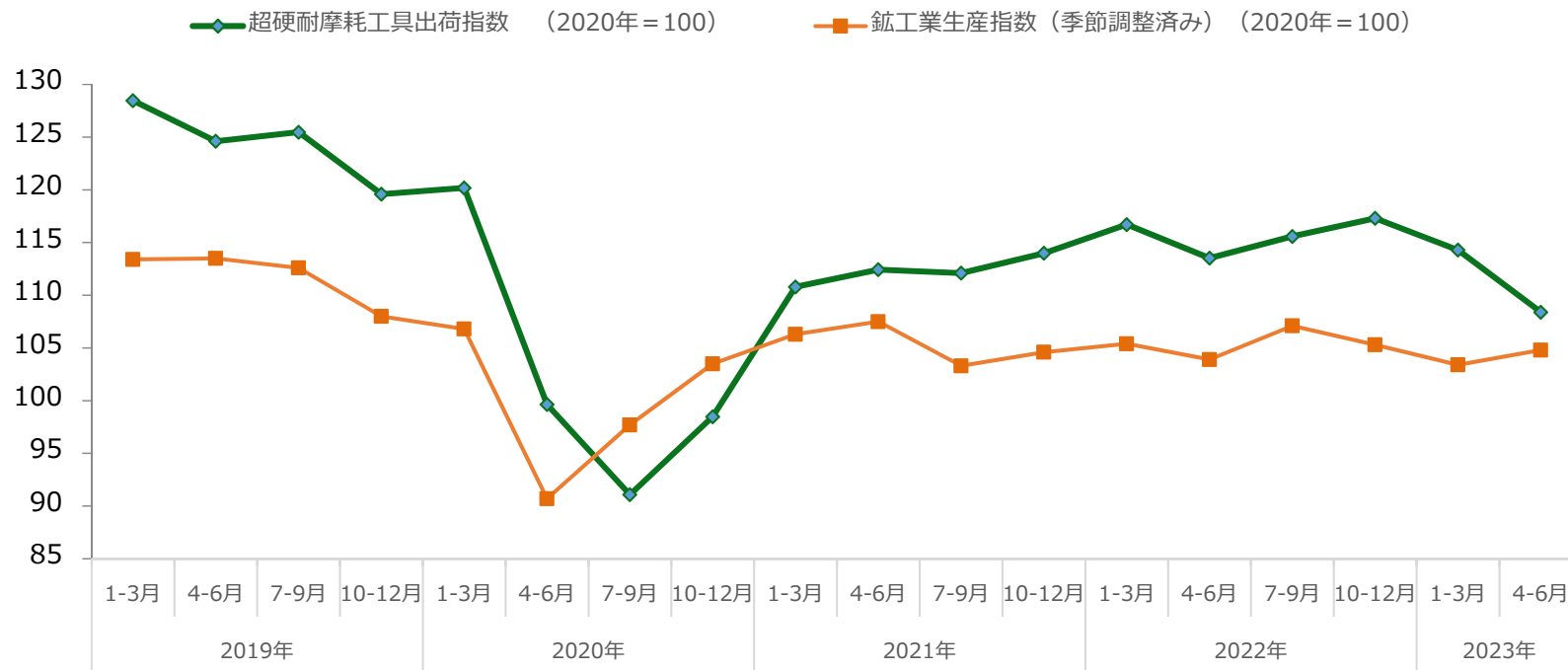
1. 世界のものづくり界のリーディングカンパニー
2. 品性ある企業グループ並びに企業人

# 2023年3月期までの事業環境

## 鋳工業生産指数と超硬耐摩耗工具出荷

2020年度と比較すると回復基調にあるが、まだ両指数ともにコロナ禍前の水準には戻っていない

### 鋳工業生産と超硬耐摩耗工具出荷 指数推移

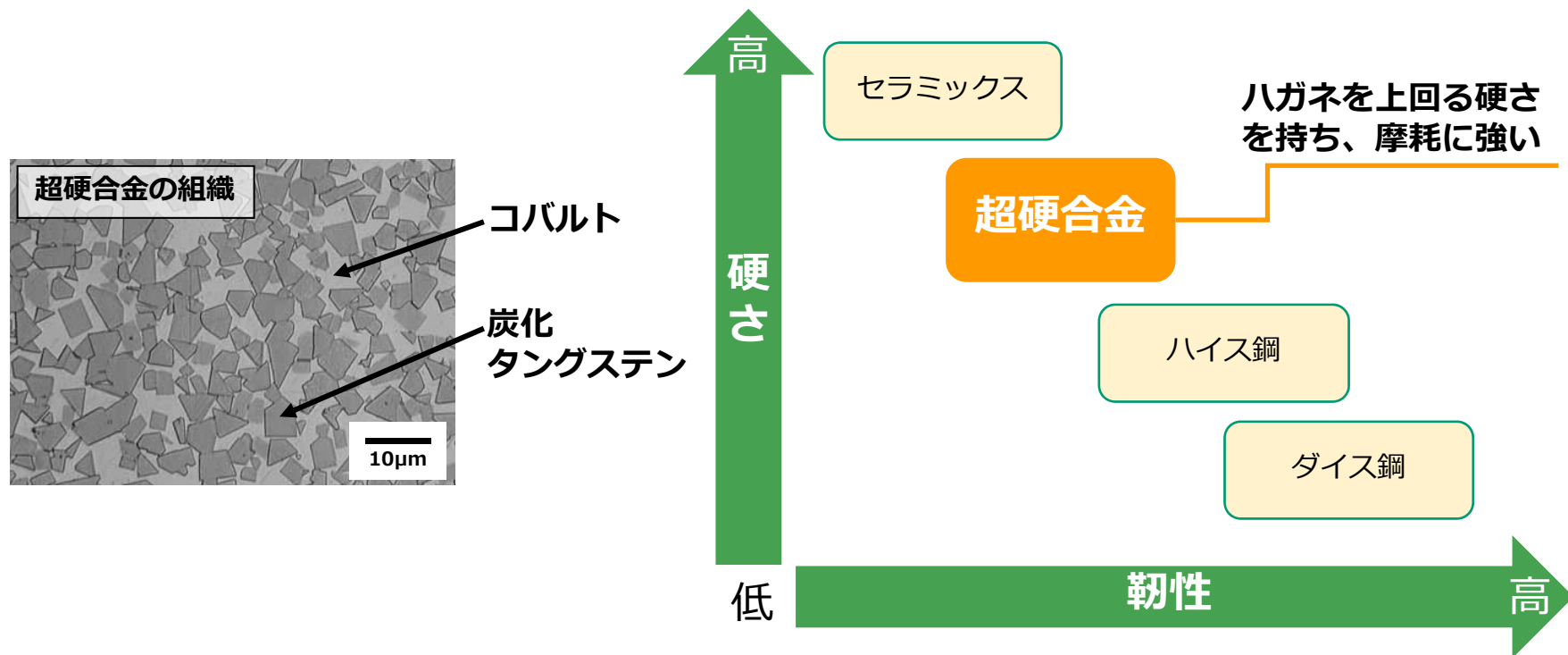


出所：日本機械工具工業会 『超硬工具統計』  
経済産業省 『鋳工業指数』



## 超硬合金とは

- 炭化タングステンなどの**硬質炭化物**とコバルトなどの**金属**を組み合わせた**金属材料**
- ステンレスや鋼鉄を凌ぐ**硬さ**を誇り、**圧縮強さ**、**耐摩耗性**に優れる
- **変形しにくく**、高い精度が求められる**金型**や**工具の材料**として適している
- 金属の粉末を型に入れ圧縮して成型し、融点より低い温度で長時間焼いて固める「**粉末冶金法**」で製造される



# 代表的な製品例

## 引抜・押出・圧延加工をする工具

輸送用機械、建築材料やインフラ関連の設備等へ使用

### 当社製品



ダイス・プラグ



ロール

### 成形部材



パイプ



線材



異形管

### 最終製品例



タイヤ・エアコン・  
鉄道架線他



インフラ設備

# 代表的な製品例

## 飲料缶・一般食缶を製造する工具・金型

アルコール飲料や清涼飲料等の飲料缶を作る金型

## 光学素子を製造する金型

一眼レフ・通信用・監視カメラのレンズを生産する金型

### 当社製品



製缶工具

### 最終製品例



飲料缶・一般食缶

### 当社製品



光学素子成形用金型

### 最終製品例



スマートフォンレンズ カメラレンズ



監視カメラ

# 代表的な製品例

## 鍛造用工具・金型

二輪車や四輪車、各種製造機械等の部品を作る金型

## 高圧工具

人工ダイヤモンドの製造、新たな素材の開発、地球の内部環境研究に用いる工具

### 当社製品



鍛造金型

### 最終製品例



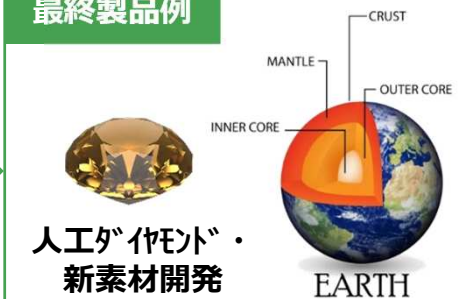
自動車・各種機械用部品

### 当社製品



高圧工具

### 最終製品例



人工ダイヤモンド・  
新素材開発

EARTH  
地球物理学研究

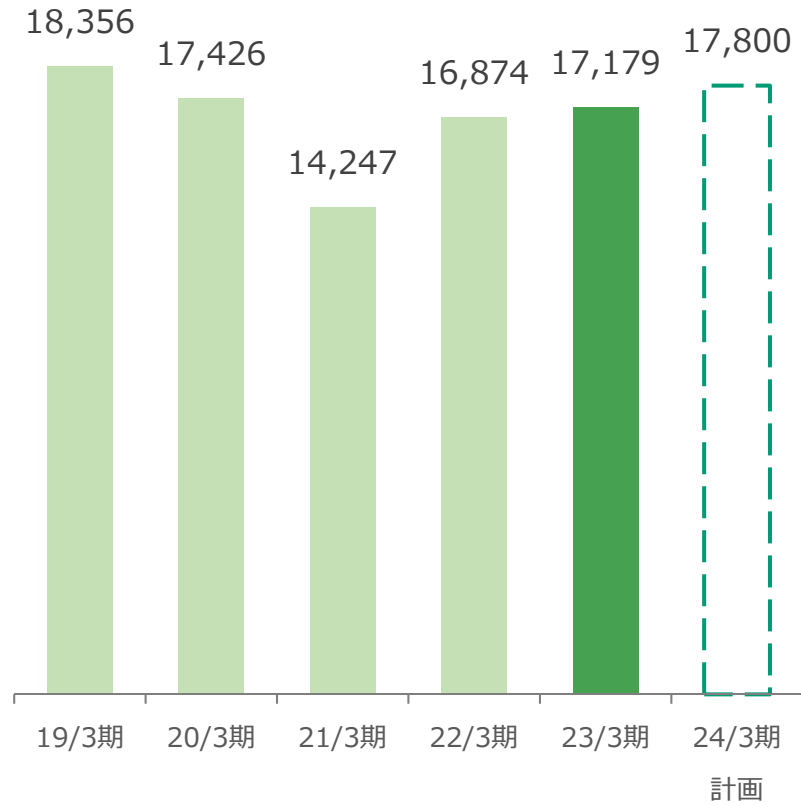
## 新製品開発・新技術開発に関する用語説明および開発の背景

分野	開発製品および技術	説明	開発の背景
医療・ 化学	・分析用デバイスとは？	樹脂やガラスなどの基板に微細な流路を形成した、チップ型の機能部品のこと。液体等を自由自在に混合・分流することができるため、分析等に用いられる。	デバイスの成型には鋼製の金型が用いられることが多いが、耐薬性に優れたガラス製デバイスの生産においては耐摩耗性が課題。
	・分析用デバイス成型用金型とは？	分析用デバイスを成型するための金型。	当社は、ガラス成型に向けた耐摩耗性の高い合金素材と超精密加工技術を活かして上記課題の解決のために研究開発を進めている。
環境・ エネルギー	・CO <sub>2</sub> 還元用触媒とは？	二酸化炭素を、合成燃料や樹脂の原料に還元する反応を活性化させる触媒。	当社のコア技術である粉末冶金技術が触媒の合成に応用できることから、当社でもカーボンニュートラルな社会の実現に向けた技術として研究開発を進めている。
	・水素発生触媒とは？	水を電気分解し、水素発生を活性化させる触媒。現在は主として白金やイリジウムが使用されており、高コストや調達不足が懸念されている。	
	・省タングステン・コバルト合金とは？	タングステン、コバルトをほとんど使用しない耐摩耗性の高い合金。超硬合金と比較して軽量。	
光学 ガラス	・TR合金とは？	熱膨張係数をガラス素材用に調整された耐摩耗性の高い合金。	ガラス素材を成型する際に、熱膨張係数の差によるガラス素材の損傷を防ぐことを目的として開発。
AM	・AMとは？	Additive Manufacturingの略語。金属を積層することで様々な形状を作り出す加工方法のこと。	加工レス化による粉末歩留まりの大幅向上、無人稼働による効率向上等の実現のため開発を進めている。

# 業績の推移 1/3

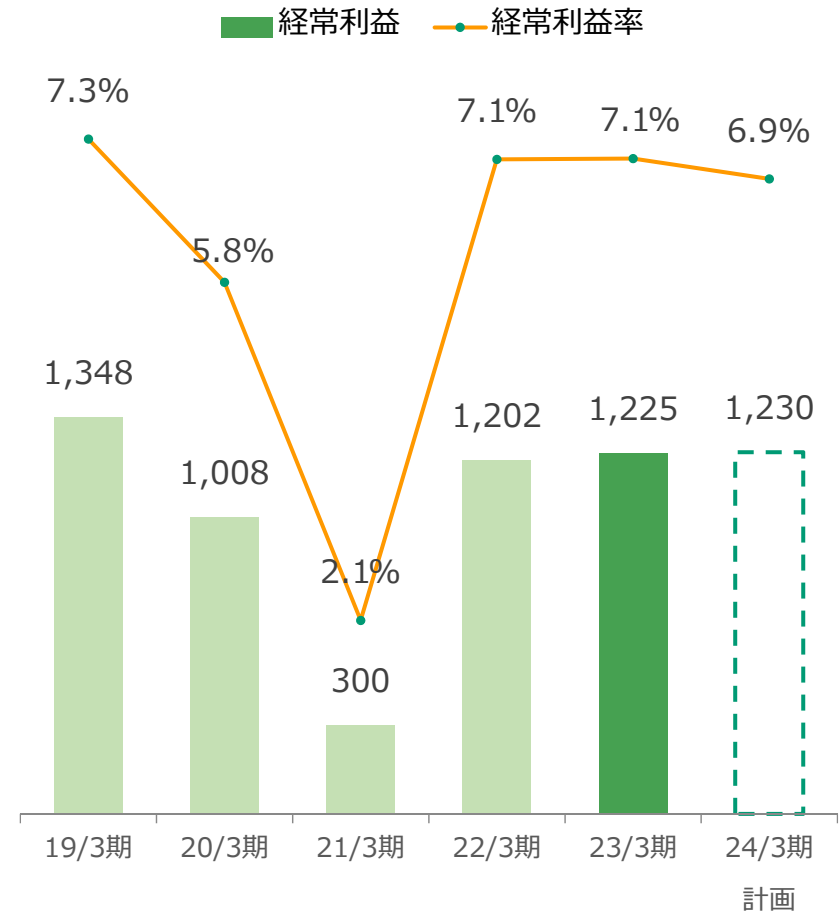
## 売上高

(百万円)



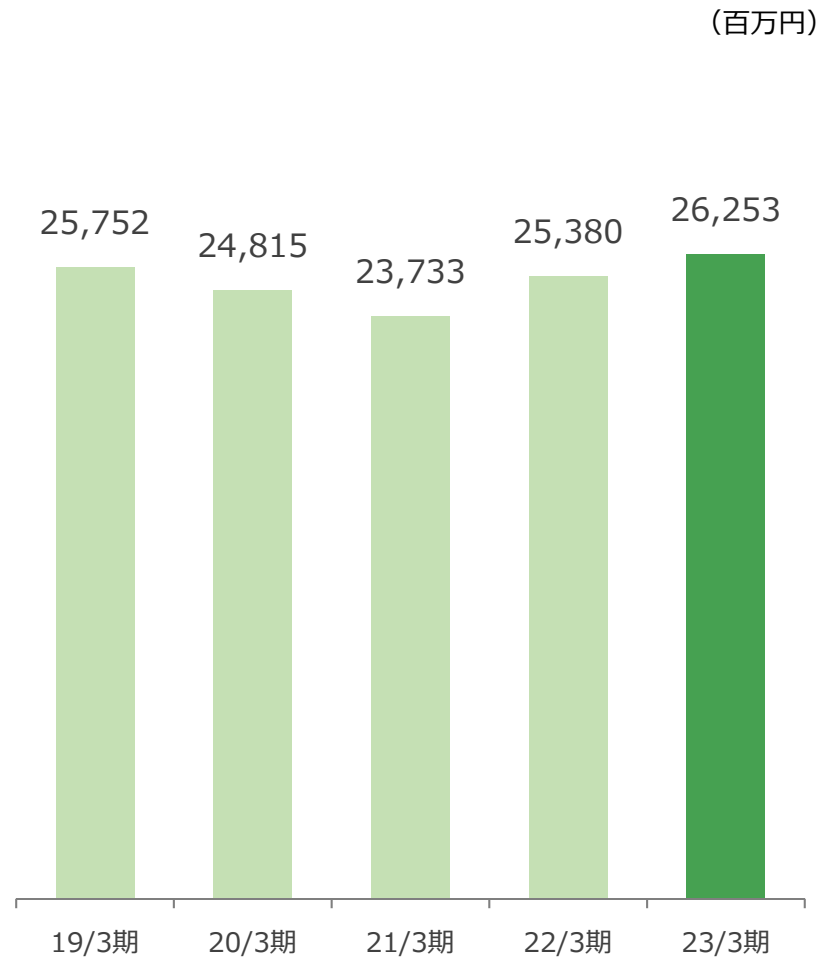
## 経常利益

(百万円)

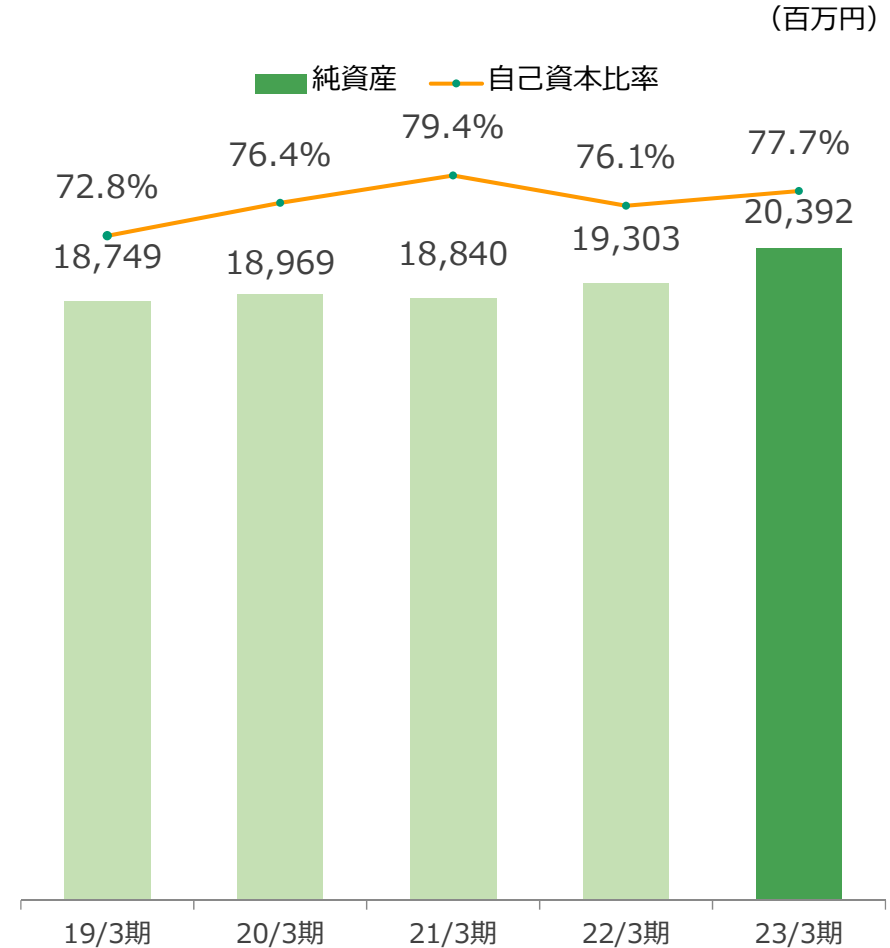


## 業績の推移 2/3

### 総資産

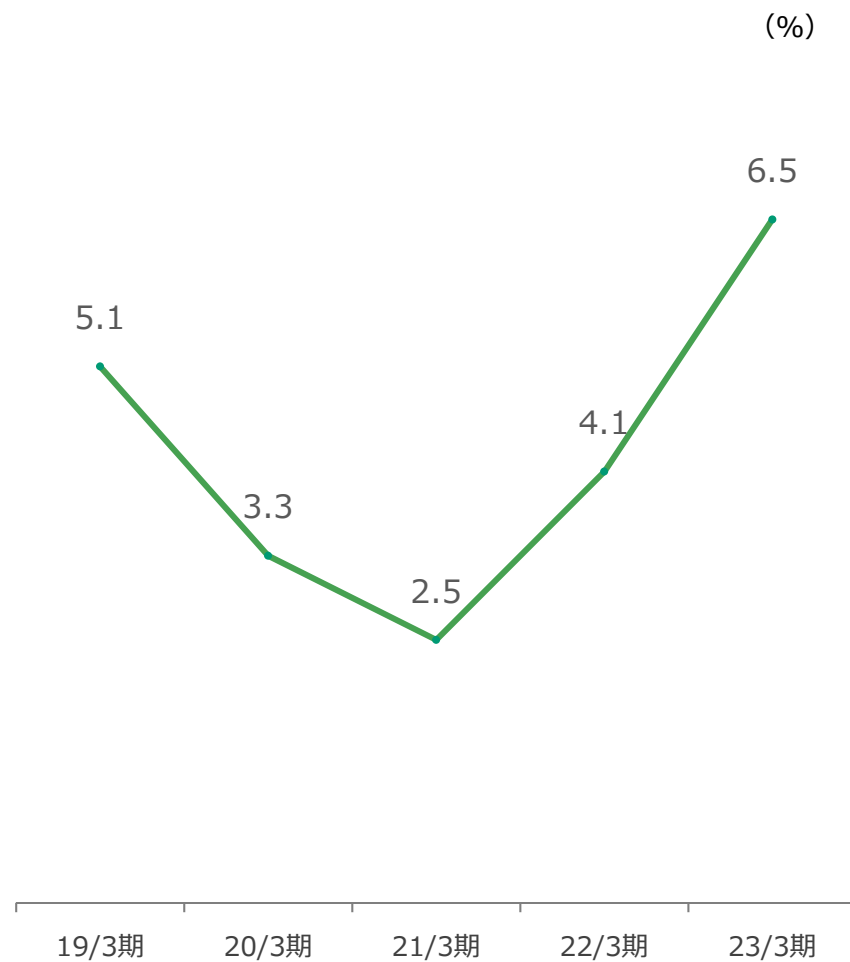


### 純資産



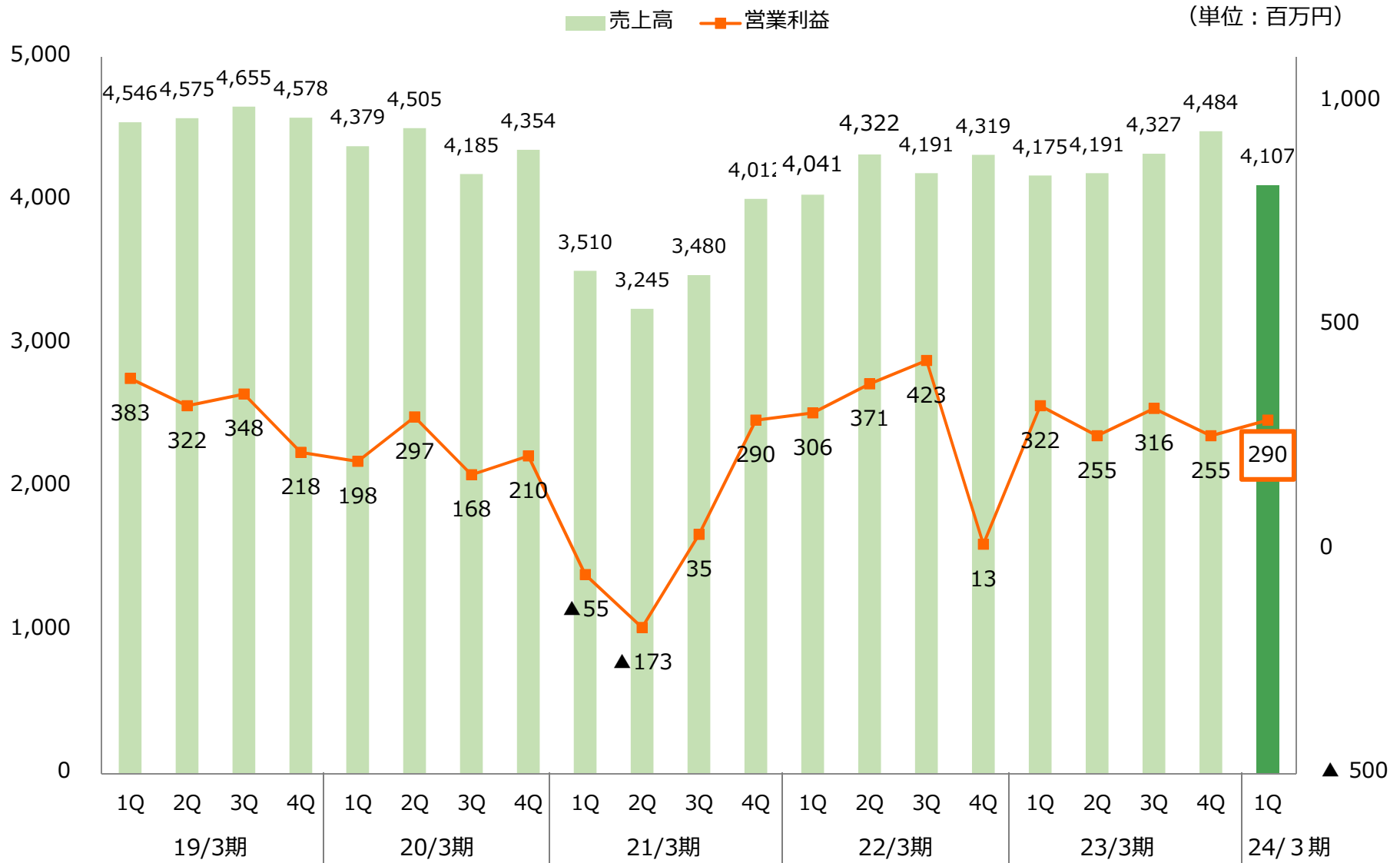
## 業績の推移 3/3

### ROE





# 連結四半期業績推移



## 免責事項について

当資料は、富士ダイス株式会社の現状をご理解いただくことを目的として、作成したものです。当資料に記載した内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成しており、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。

また、当資料には見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものがあり、当資料に記載されている内容とは異なる結果を生ずる不確実性（市場、金利、為替の変動といった国内外の経済状況等）が含まれております。今後、新たな情報や出来事等が発生した場合、当社は本資料の更新・修正を行う義務を負うものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

尚、情報の掲載には細心の注意を払っておりますが、情報の誤りや改ざん、データのダウンロード等で被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。